

ISS の商業化／民営化の現状

有人宇宙システム株式会社

佐藤巨光

アブストラクト：

2021 年度は民間宇宙旅行が本格化した年である。また、国際宇宙ステーション (ISS) 内の民間企業による自社インフラが ISS に設置され、サービス提供を進めている。Axiom 社は 2025 年より将来の商業宇宙ステーションを目指した民間モジュールの ISS 設置を開始するための開発に着手した。NASA は民間企業とは競合しないことを明言の上、米国民間企業による低軌道 (LEO) /ISS 商業化を支援している。民間でできるサービスは民間へ、宇宙機関は顧客としてサービス購入という方針。一方、宇宙ミッションの特徴である ISS クロスウェーバー、フライト遅延など、民間ビジネスの観点で今後契約上の在り方の検討を要する点もあると言える。宇宙ビジネスの環境が変化中、JAMSS は高品質タンパク質結晶生成サービス “Kirara” で独自インフラを使った民間サービス提供を海外企業も巻き込んだスキームで進めている。